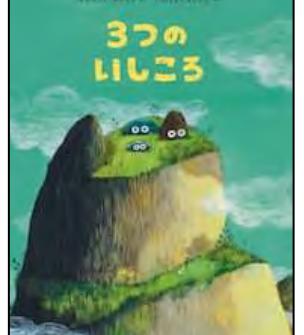
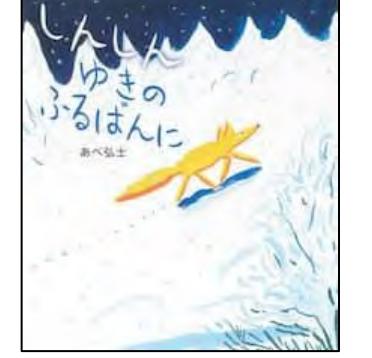


2025年度(令和7年度)

冬休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
幼児				
1		くうちゃんのかけっこ まえがわ かえで/作・絵 978-4-19-8344-0297-1	白順社 2025.7 1,100円	学校の帰り道お友だちと一緒に走れないくうちゃんは泣いてしまう。お母さんと出かけた「走り方を教えてくれるイベント」で新しい義足、新しい仲間と出会う。 義足のくうちゃんの絵本シリーズの第三弾！友達といっしょに走りたいくうちゃん。でもこの義足じゃ、走れない……新しい「はしりよう」の義足に付け替えて、バージョンアップ。ぼよ~んと跳ねて、ジャンプして、走って、ころんで、また走る。ほら、義足でも走れるよ！
2		3つのいしころ オリヴィエ・タレック/作 いわじょう よしひと/訳 978-4-7764-1161-1	BL出版 2025.9 1,760円	高い山のてっぺんでじーっと暮らす3つのいしころたち。ある日、かみなりがゴロゴロとなり山のてっぺんにピシャーン！追い出された石ころたちの行き先は？挿絵と相まって想像が広がっていく一冊。 高い山のてっぺんでじーっと暮らす3つの石ころたち。風に吹かれ、遠くの山々を眺め、ふもとの羊を数え、いいにおいの草花が育つのを見て過ごす。それはそれは幸せな石ころ暮らしだった。そんなある朝、雷がゴロゴロとなり、山のてっぺんにピシャーン！石ころたちは追い出されてしまった。どこにいたって、幸せな石ころ暮らしへできるよね？転がった先もけっこういいところかも。
3		のらねこ ノラ すげ いずみ/作・絵 978-4-591-18727-2	ポプラ社 2025.10 1,650円	「おとなり、ちょっとおじやましますね。」と、日向ぼっこのノラのとなりに座ったおばあちゃんとの温かい出会いの物語。優しさにあふれた文と絵で、幸せが広がり心があたかくなる一冊。 公園の片隅にひとりで暮らすねこのノラ。ある日、お気に入りのベンチに腰かけていると、セーターをいっぽい着たおばあちゃんがやってきました。「おとなり、ちょっと、おじやましますね」「ベンチがあたたかくて、うれしいわね」お話好きなおばあちゃんに、ノラの心はすこしづつほどけていき……ノラと、おばあちゃんの、なんでもない日の、あたたかい出会いの物語。
4		しんしん ゆきの ふるばんに あべ 弘士/作・絵 978-4-564-01967-8	ひかりのくに 2025.10 1,650円	雪のふる晩にきつねが歩いていると、森の動物たちに出会った。出会う度に物語が生まれる。会話と挿絵で、作者の世界にあつという間に引き込まれていく。 しんしん ゆきの ふる ばんに きつねが ひとりで あるいてく あうのは ともだちに でんぼうを うつ きつつき きつねから にげる れんしゅうをする ゆきうさぎなど ふりもつた雪の下からきこえてきたのは… 「なんだ、くまのねごとか」あべ弘士の魔力で、雪の夜の森へ誘う美しい雪の夜の絵本。
5		さかなをたべた あののほね 加藤 休ミ/作 978-4-8340-8881-6	福音館書店 2025.11 1,100円	みてみよう、いろんな魚のいろんな骨！ おいしい魚、いただきます。食べたら骨が残ったよ。みて、いろんな魚のいろんな骨！ 作者の加藤休ミさんはクレヨンとクレパスを用いて、おいしいものを本当においしそうに描く画家です。この絵本はそんな加藤さんの真骨頂！ 絵本で目の前に並ぶ魚とその骨は、まるで本物のようです。魚を食べるとき骨を外すのは面倒ですが、その骨に目を向けてみると、そこには新たな発見が。ごはんの時間がより楽しくなる絵本です。
小学校・低学年				
1		ねこきちのてぬぐい かとう まふみ/作 978-4-06-537611-9	講談社 2025.6 1,650円	子猫のねこきちの手ぬぐいになった「まめしばり」。よだれや汗がついたり、体を洗ったりといつも一緒に過ごしていたが…。様々な役に立つ手ぬぐいの循環サイクルが学べる絵本。 豆粒のような丸い模様がずらりと並んでいるのが「まめしばり」という絞り染めのてぬぐいで。頭にかかる、体を小さく、物をつむ…使いきって、もやされて、灰になってしまって役に立つ！江戸のくらしはSDGsだった！？ 今日からねこきちの手ぬぐいになった「まめ」。汗をふいたり、物をつんだり、いつもねこちといっしょにすごしていたのですが…。手ぬぐいをきっかけにして、物を無駄にしない心や、江戸時代の循環サイクルなどが自然に学べる絵本。
2		あくびなかまと はらっぱで 小島 敏太/作 鬼頭 祐/絵 978-4-03-439720-6	偕成社 2025.8 1,430円	子ヒツジがある日、甘い草のにおいに誘われて、偶蹄目のバイソンやラクダと出会う。ユーモラスな短いお話と詩で構成された、のんびりしたくなる童話。 子ヒツジがある日いい匂いの風に誘われてとことこ歩いてたどり着いた先は不思議なはらっぱでした。初めて出会うバイソンやラクダが言うには、ここはひづめの先が二つに分かれた「ぐうていもく」だけが来られる特別なはらっぱ。そこでみんなでぐうぐうお昼寝したり、おいしい草を食べたり、のんびりとすごすのです。みんなそれぞれ好きなことをするので、ヘンテコなこともたくさん起こります。ある日のラクダは全員をさかなくなってくれます。自分はジャガイモと言いましす。バイソンはいつも考えたことが口に出るまでに時間がかかりすぎて忘れちゃう…。でも子ヒツジにはここがとっても居心地がいいでした。ユーモラスな短いお話とつぶやきのような詩で構成された読みやすい一冊です。
3		いじわるなトラと おしゃべりなタンポポ イ・ジウン/作 吉川 南/訳 978-4-7631-4050-0	サンマーク出版 2025.8 1,980円	あばれんぼうで森の嫌われ者のトラのしっぽに、ある日タンポポがくっついて…。マンガのよなコマ割りや軽妙だけどほっこりするトラとタンポポのやり取りが楽しい絵本。 あばれんぼうのトラは、森のきらわれもの。ある日、トラのしっぽに、タンポポがくっついて、はなれられなくなっちゃった！それからというもの、タンポポはトラを「黄色いの」とよんで、みんなに声をかけたり、こまっている動物たちをたすけたり。ふたりは、だんだんとなかよくなつて…。トラとタンポポが出会って生まれる、心あたたまる物語。
4		じかんはともだち てづか あけみ/作 978-4-03-352210-4	偕成社 2025.9 1,980円	いったい時間って何？時間の流れ、名前、地球上にあるいろいろな時間、生き物によっても違う時間。時間のことについて考える絵本。 「時間」って、何？時計を見れば、わかる？一秒って何だろう？1時間って？ぼーっとしても、歌っていても、眠っていても耳管は流れていく。自分の時間は、自分だけの宝物。今を楽しむみんなのための新しい「時間」の絵本。 今は3時。ところで、3時って何だろう？8時までに出かける準備をして、12時にお昼ごはんを食べて…でも、いったい時間って何？1秒、1分、1時間、1日。時間についている名前のこと、地球上にあるいろいろな時間、生きものによってもちがう時間。でも、いろいろあっても時間は自分だけのもの。自分だけの時間、自分だけの今日を思いっきり楽しもう！時間のことについて考える絵本。

5		ダニーさんの ちゃぶだい ダニー・ネセタイ/企画 なるかわ しんご/作 978-4-909809-68-1	イマジネイション・プラス 2025.8 1,980円	企画のダニー・ネセタイさんは元イスラエル兵。3年間の徴兵を経て、日本を旅する中で出会った人は「敵」と教えられている国の人だった。現在家具職人となり日本で働くダニーさんが絵本を通して平和について伝える。 絵本を通して平和のあり方を考えます。そのキーワードは丸いちゃぶ台。角のないちゃぶ台は誰とも同じスペース、同じ距離で接することができるのです。
6		あめあめ ふれふれ くすのき しげのり/作 酒井 以/絵 978-4-265-83142-5	岩崎書店 2025.9 1,540円	学校からの帰り道に、急な雨で雨やどりする3人の小学生。雨がやむお祈りをしたり迎えにきてもらったり…。雨降りが楽しくなる心あたたまる絵本。 雨やどりでいっしょになった学年のちがう三人。二年生のみさと、一年生のユリちゃん、三年生のユウトくん。雨がやむ「おいのり」のききめは、あつたでしょうか？雨ふりがたのしくなる、心あたたまる絵本！
7		ある星の汽車 森 洋子/著 978-4-8340-8874-8	福音館書店 2025.10 1,980円	挿絵が物語をリードしていく。列車でひとりの男の子が出会うのは、かつて地球上に存在した絶滅種だった。想像力が果てしなく広がる一冊。 【絶滅してしまった動物たちを描いた創作絵本】 広い大地を走る汽車には、ドードーの紳士、卵を大事に抱えたオオウミガラスの夫婦、リヨコウバトの団体客など、たくさんの乗客が乗っています。の中に、お父さんと旅をする男の子がひとり。男の子は車内をまわって、動物たちと会話をしたり、つぶやきを聞いたりします。しばらくすると、汽車が駅に止まり、ドードーの紳士が下車していきます。その後も駅に着くたびに、乗客がひとりずつ降りていき、徐々に車内は寂しくなっていきます。
8		かみなりせんによと いなづませんによ ハン・ガン/文 チン・テラム/絵 さいとう まりこ/訳 978-4-338-12660-1	小峰書店 2025.9 2,200円	空の国には、毎日いろいろな雲を作る仙女たちが住んでいる。退屈した2人のおちび仙女が、下の世界を見る旅に出かけると…。雷や稲妻がちょっぴり楽しくなる絵本。 空の国で、雲を作つて暮らす仙女たち。わた雲や巻雲、雨雲のような、たくさんの種類の雲を作っています。でも、そんな毎日を退屈に思ったふたりのおちび仙女がいました。ふたりは、こつそりぬけだして、世界を見物しにいこうとします。でも、大人の仙女に見つかり、つれもどされてしまいますが、おばあちゃん仙女に、「もっとおもしろいしごとをしたいです」と、気持ちを伝えるふたり。そんなふたりに、おばあちゃん仙女がかけたことは、そして、旅にでることになった出発の日、おばあちゃん仙女がふたりに渡してくれた箱に入っていたものとは…。
9		からだたんけんれっしゃ かぜをやっつけろ 浜田 真理/文 大橋 慶子/絵 清水 俊明/監修 978-4-330-03025-8	交通新聞社 2025.10 1,760円	風邪をひくと、どうしてしんどいの？不思議な列車に乗つて、体の中をふたたび大冒険！鼻の穴から発車した列車は、なぞの列車を追いかけて「気管支線」へ。風邪をひいてから治まるまでの過程、戦う細胞のことが楽しく分かる！ はっくしょん！気がついたら、おもちゃの列車に乗つて自分の鼻の中に入っちゃつた！体の組織みが分かる大人気絵本『からだたんけんれっしゃ』の第2弾！風邪をひいた男の子が「からだたんけんれっしゃ」に乗つて、体の中を再び大冒険します。鼻の穴から緊急発車した列車は、なぞの列車を追いかけて「気管支線」へ。ウィルスと戦う「ハッケッキュー列車」や蒸氣で発熱を促す「SL」など、体の中の列車が大活躍します。
10		冬にやってきた 春と夏と秋 ジョナサン・フリードランド/文 エミリー・サットン/絵 さくま ゆみこ/訳 978-4-03-960460-6	徳間書店 2025.10 1,980円	異常気象への警鐘ともいえる絵本 冬の王さまは、誕生日にながく会っていない兄弟たちを呼ぶことにしました。春の女王、夏の王、秋の女王です。太陽や風、木や草がためましたが、王さまは言うことをきかず、兄弟は、冬の宮殿に集まりました。すると、外は、おかしなことになっていきました。四つの季節が同時に訪ねたせいで、草木も動物たちもとまとどつて…。
小学校・中学年				
1		すすめ！ 雪国スノーファイター 星野 秀樹/写真 池田 菜津美/文 978-4-406-06819-2	新日本出版社 2024.11 2,860円	雪国のからし、安全を守る乗りもののひみつ 雪に埋もれる雪国の冬に大活躍する除雪車3機種のひみつを大公開。つもった雪を遠くへ飛ばすロータリー。道に降りつもつた雪をわざに押しのけるドーザー。降りかたまつた雪をけずりとるグレーダー。それぞれを詳しく写真で解説、はたらく姿もカッコよく紹介します。 雪国のからしにちょっと詳しく述べられる写真絵本。
2		宇宙でウンチ みんなの知らない宇宙トイレのひみつ A.ボンドー=ストーン、C.ホワイト/作 L.ケンセス/絵 千葉 茂樹/訳 978-4-7515-3236-2	あすなろ書房 2025.2 1,650円	無重力の宇宙で、もよおしてしまったらどうするのか？科学の力を使って宇宙飛行士が快適にすごせるよう、改善と研究が続けられている。宇宙船のトイレの移りかわりが分かる知識絵本。 宇宙…それは、人類に残された最後の開拓地。人類は、世界最高水準の英知をあつめ、最新の科学技術を駆使し、この未だ開拓した世界への冒険をおしすすめてきた。しかし、快進撃に見えるこの「宇宙への道」には、実は、科学のチカラでは解決できない大きな問題が残されていた…！ 宇宙空間に「快適なトイレ」を作るには、どうすれば良いのか？意外と知らない宇宙トイレの秘密に迫るユニークな絵本。長年にわたる研究と新しいアイディアのおかげで、今ではどこへ行つても安心してウンチができる！
3		ほるんだ、恐竜化石！ モンゴル恐竜発掘記 平田 貴章/写真・文 小林 快次/監修 978-4-09-725422-5	小学館 2025.7 1,760円	モンゴルの大草原をぬけ、ゴビ砂漠のど真ん中でスタートする恐竜発掘大作戦！調査隊の生活や恐竜の化石について写真たっぷりで紹介する科学絵本。 ここからはじまる、恐竜発掘の大冒険！博物館の恐竜は、どこからやってきたんだろう？そのヒミツをさぐるため、とてか砂漠へ出発だ！恐竜発掘隊の大冒険に密着し、数々の困難を乗りこえていく、迫力たっぷりの写真絵本がついに誕生。さあ、ゴビ砂漠にねむる恐竜をさがしに行こう！ほるんだ、恐竜化石！今回発掘の舞台は、今もっとも注目されている化石産地のひとつ、モンゴルのゴビ砂漠。世界的な恐竜学者・小林快次博士が率いる恐竜発掘隊は、首都ウランバートルを出発し、大草原をこえ、どこまでも広がる砂漠を突き進んでいきます。過酷な砂漠のテント生活に、強烈な日ざし、空をまっ黒におおいつくす砂嵐にも負けず、ひたすら地面を観察しながら歩き続けること数日。ついに、恐竜の化石を発見！？
4		ちるるのシンフォニー 佐和 みずえ/作 南波 タケ/絵 978-4-338-30814-4	小峰書店 2025.5 1,540円	4年生の詩音一家は、75才の祖母ちるるのピアノコンクール出場宣言に大騒ぎ。頑張るちるるの応援を通して、詩音は大切なことを学んでいく。 「わたし、ドリーム音楽コンクールに出場します！」小学四年生の詩音が学校で大失敗した日、突然のちるるの宣言に、詩音たち家族はびっくり！だって、ちるるは七十五歳。詩音のおばあちゃんなのだから。秋のピアノコンクールをめざして、ちるるの猛練習が始まった…。 小学4年生の詩音一家は75歳の祖母ちるるのピアノコンクール出場宣言に大騒ぎ。近所から苦情が出ても、ちるるはコンクール出場をあきらめない。子どもの頃の貧しかった暮らしや集団就職のこと、そして、ピアノへの熱い思いを聞かされる詩音。詩音たち家族は、一致団結して、ちるるを応援することにする。必死にがんばるちるるの応援を通して、詩音は夢を抱くことのすばらしさ、できることを精一杯やっていくことの大切さを学ぶ。

5		じいちゃんの赤いスニーカー 本田 有明/作 しらこ/絵 978-4-333-02941-9	佼成出版社 2025.6 1,650円	引っ込み思案な翔平にできた友達は年上の盲目の「じいちゃん」。翔平の悩みを優しく解決に導いてくれるじいちゃんとの友情と成長の物語。 引っ込み思案な翔平にできた友達は、何十歳も年のはなれた、目の見えない「じいちゃん」。やがてじいちゃんは、翔平がかかるさまざまな問題を、冰をとかすように、やわらかに解決へとみちびいていく。年齢をこえた友情と成長の物語。 内気な翔平にできた友達は、何十歳も年上で盲目の「じいちゃん」でした。翔平はじいちゃんから「生きること」のヒントをもらいました。
6		探知犬ものがたり 有島 希音、速渡 普士/文 978-4-580-82692-2	文研出版 2025.6 1,760円	優れた嗅覚を生かして警察の捜査、災害救助、税関の検査などの現場で活躍している探知犬。北海道の探知犬の一生を追いかけたノンフィクション。 優れた嗅覚を生かし、人びとのために働いている探知犬。生まれてから探知犬になるまで、どんな道のりを歩んできたのでしょうか？引退後は何をしているのでしょうか？探知犬になることをめざす子犬、出動にそなえて訓練にはげむ現役の探知犬、役目を終えて引退した警察犬を追いました。
7		おばあの サーター・アンダギー 上條 さなえ/作 こやま もえ/絵 978-4-378-01572-9	さ・え・ら書房 2025.8 1,760円	不登校になってしまった小3のみるくと沖縄のおばあの間に育まれた思いやりの物語。 ランドセルを背負うとおなかがいたくなり、学校にかよえなくなった、小学校3年生のみるく。そんなみるくをあつたかい気持ちにしてくれたのは、おとなりにひっこしてきた、おばあでした。沖縄のこと。人が人を思うということ。不登校の小学生と沖縄のおばあの間に育まれたきずな物語。
8		お月さま いつもありがとうございます 地球の生きものと月のはなし メリッサ・スチュワート/文 ジェシカ・ラナン/絵 まつむら ゆりこ/訳 吉村 崇/解説・監修 978-4-8340-8866-3	福音館書店 2025.9 1,650円	月の満ち欠けが生き物の暮らしに与える影響を、最近の研究に基づいて描いた科学絵本。 満月のかがやく夜、オサガメの赤ちゃんは海に向かい、ヨザルは木々をわたってエサを探し、サンゴはいっせいに産卵します。新月の暗い夜、ライオンは闇にまぎれて狩りをします。月の満ち欠けが生きものの暮らしに与える影響を、最新の研究成果に基づいて描いた科学絵本。巻末に月や動植物に関する解説があります。
9		山に登る 星野 秀樹/写真・文 978-4-7520-1142-2	アリス館 2025.5 1,760円	立ちふさがる険しい山。力強く大きな山。そこにはかけがえのない時間や喜び、風景がある。「だからぼくは山に登るんだ。」山登り写真家の美しい写真が物語る。 山はまだまだ続く。ああ、もうつかれたよ。足だってクタクタだ。でも、そこには、かけがえのない時間やよろこび、景色があるんだ。だからぼくは、山に登るんだ。 目の前に立ちふさがるけわしい山、あれくるう吹雪の山、力強くて大きい山！ そこには、かけがえのない時間やよろこび、風景がある。「だからぼくは、山に登るんだ。」
10		みんなをつなぐアイヌの糸 横塚 真己人/写真・文 978-4-593-10426-0	ほるぶ出版 2025.5 2,035円	アイヌの伝統的な布「アットウシ」を家族と一緒に長年作っている二風谷の貝澤さん。取材の中で見えてきたのはアイヌの歴史や文化、周りの人との絆だった。 アイヌの伝統的な布アットウシは、実は、木の皮から作られています。硬い木の皮から、一体どうやって、柔らかな布を作るのでしょうか。北海道でアットウシ織りを続ける女性をたずねて、見えてきたものは—
小学校・高学年				
1		それからぼくはひとりであるく アリシア・モリーナ/作 犬吠 徒歩/絵 星野 由美/訳 978-4-593-10534-2	ほるぶ出版 2025.6 1,595円	ハイメは11才。新しい学校のクラスに、視覚障害のある子は自分だけ。ある日、気になるクラスメイトの子の前で、見栄をはって初めて一人でバスに乗って帰ることになり…。目の見えないハイメのささやかで大きな冒険の1日。(帯より) 「ぼくは、みんなと同じように学校に行って、みんなと同じように家に帰るところです」ハイメは11歳、新しい学校のクラスに視覚障害のある子は自分だけ。ある日、気になるクラスメートの子の前で見栄をはって、はじめてひとりでバスに乗って帰ることになり—。目の見えないハイメの、ささやかで大きな冒険の1日。
2		ラクダで塩をはこぶ道 サハラ砂漠750キロの旅 エリザベス・ズノン/作 千葉 茂樹/訳 978-4-7515-3254-6	あすなろ書房 2025.6 1,980円	塩の町タウデニからニジェール川ほとりの都トンブクトゥまで、自分のラクダに岩塩を積み込んで、父さんのキャラバンに初めて加わった少年マリク。サハラ砂漠を進む旅が始まった。 アフリカ・マリ共和国のタウデニでは、たくさんの岩塩が産出されます。ここで取れた貴重な塩を、10数頭のラクダに載せて、750キロ離れた街トンブクトゥに運ぶラクダのキャラバンは、現在も続々伝統的な儀式です。キャラバンに参加できる年齢になった少年マリクと、彼のラクダ、ラクマール。一歩間違えば命に関わる過酷な旅の道中で、彼らを待ち受けていたものは…。
3		ONE DAY ホロコーストと聞いつづけた父と息子の実話 マイケル・ローゼン/文 ベンジャミン・フィリップス/絵 横山 和江/訳 978-4-7902-5449-2	鈴木出版 2025.6 2,200円	ドイツに占領されたフランスでナチスに対抗する活動をしていた親子は、収容所に移動する列車から飛び降りた。ホロコーストの恐怖と惨劇の中でも希望を見出した、実話をもとにした物語。 あの日、ぼくたちの人生は変わってしまった。昨日のことは、考えない。明日なんて、ないかもしれない。目の前にあることをなんとかするので、精一杯だった。ユージン・ハンチューは、ナチス・ドイツに占領されたパリにすむユダヤ人。数えきれないほどのユダヤ人が命をおとすなか、ユージンと父親のオスカーは闘いつづける。ベンジャミン・フィリップスの力強いイラストによる、実際にあったできごとをもとにした強く心に訴えるこの絵本は、最悪の時代であっても、人ひとの心には最良の部分があることを思い出させてくれる。
4		まるみかん大一番 まはら 三桃/作 978-4-09-289339-9	小学館 2025.6 1,760円	丸美市立みんなの図書館、通称「まるみかん」。創設50年をむかえたばかりだったが、突然「閉館」することが決定した。近くの小学校に通う研心、広也、銀河ら利用者たちは、閉館を止めるために力を合わせて声をあげる。「まるみかん」を守れるのか。 みんなの図書館を守れ！ 丸美市立みんなの図書館、通称「まるみかん」。創設50周年を迎えたばかりの「まるみかん」だったが、ある日突然「閉館」することが決定した。近くの双葉小学校に通う松谷研心ら「まるみかん」利用者たちは、閉館を止めるために力を合わせて声をあげるー。研心たちは図書館を守れるのか、それともなくなってしまうのか？「まるみかん」をめぐる戦い、いざはじまる！

5		海でつばさを手に入れる 5300万年前に始まったクジラの挑戦 中村 玄/作 箕輪 義隆/絵 978-4-652-20688-1	理論社 2025.7 2,090円	クジラの進化の過程を全編見開きの美しい絵で解説している。ページの下部に年表があるので、どの時代の姿かが分かりやすい。初めは、陸を歩いていたクジラの祖先が5300万年後の今、進化の末に海でのつばさを手に入れるまでの道のりを描く。 今から5300万年も前のお話です。これまで地上を支配していた恐竜が滅び、哺乳類の時代がやってきました。サトウクジラの体重はバキケタスの1000倍以上。大型犬ほどの古生物が海をめざし、体の形を変えていったその悠久の進化が一冊の絵本になりました。クジラの祖先だけでなく、今の犬や猫、サイやバク、類人猿の祖先たちも少し出でてきます。
6		ぼくのシェフ 長谷川 まりる/作 西村 ツチカ/絵 978-4-7743-3894-1	ぐもん出版 2025.7 1,650円	料理をテーマに、ふたりの少年シェールとアズレの友情と食べること、そして命について描いた物語。(新刊案内より) 野間児童文芸賞受賞作『杉森くんを殺すには』の作者がおくる料理と命の物語。 作ろう！ふたりで本当においしい料理を。登場する料理のレシピつき。物語に登場する6つの料理が作れる！
7		ぼくとコテツの最後の3ヶ月 江本 宏平/監修 棚木 こえだ/著 くまおり 純/イラスト 978-4-05-206182-0	Gakken 2025.8 1,430円	自分が生まれる前からいた、愛犬のコテツ。僕が生きてからも、まるで兄と弟のように過ごしてきた。しかし、犬と人の成長速度は異なり、いつしかコテツは人でいう60歳となっていた。人と犬と一緒に暮らすときの心構えなど新しい実用小説。 もしも、愛犬が、余命宣告されたら…？ペットを飼う全家庭(親子)必読！涙がこぼれる、新しい実用小説！！ 子どもの頃に愛犬と悲しい別れを経験し、その後、ペットを飼えなくなってしまう人も少なくない。本書は、愛犬との別れ、そこからの回復を描いた感動の物語。子どもだけではなく、子どものつらい体験に寄り添う大人にも読んでほしい一冊。実用的コラムも充実。
8		ポジション！ 高田 由紀子/作 978-4-265-84067-0	岩崎書店 2025.10 1,650円	人数合わせのため、スポーツは苦手なのに誘われてミニバスケットチームに入った芽吹。入団したものの自信が持てずにいたが、車いすバスケにとりくむケイの姿に勇気をもらう。チームメンバーそれぞれの視点で描く成長物語。 人数合わせのため、スポーツは苦手なのに、「背が高いから」という理由だけでミニバスケットチームに誘われた芽吹。「なにかが変わるかもしれない」と期待し入団を決意したものの、早くも自信喪失。車いすバスケで努力を重ねるルイの姿に勇気をもらいながら、仲間の役に立ち自信をつけないと、練習に励むが…。チームメンバーそれぞれが、自分の居場所を模索しながら成長していく物語。
9		エイト！ 嘉成 晴香/作 早川 世詩男/絵 978-4-251-04497-6	あかね書房 2025.10 1,540円	不登校だった小学5年生の永都は、突然母から「エジプトへ行こう」と誘われる。異文化に驚きつつも、人々とふれあい、自分を見つめ始める。しかしコロナのパンデミックで、アジア人差別が…。まるで冒険のような状況の中で成長していく少年の物語。 不登校だった小学5年生の永都は、突然、母といっしょにエジプトで暮らすことにな！異文化の一つ一つに驚きつつも、同じ年の少年・マドと出会い、「エイト」と親しみを込めて呼ばれるほどになる。しかし、コロナウイルスのパンデミックで、アジア人差別が…。日本を飛び出し、初めての海外生活で、自分を見つめ直す少年の物語！
10		ラン・ガール・ラン！ 女子マラソンのとびらを開けたボビー・ギブ アネット・ペイ・ピメンテル/作 ミーシャ・アーチャー/絵 やすだ ふゆこ/訳 978-4-03-425430-1	偕成社 2025.10 1,980円	ボストンマラソンを初めて走った女性ボビー・ギブ(1947年～)の物語。 小さいころから走ることが大好きだったボビー・ギブ。しかし「女人にフルマラソン42.195kmは走れない」とボストンマラソンに出ることを、ことわられてしまいます。「女人はダメ？そんなルールまちがってる。女人もできるって、わたしが伝えるしかない」ボビーは覚悟を決め、ルールをやぶってスタートします。1966年、アメリカのボストンマラソンで繰り広げられた「世界を変えた挑戦」を、色鮮やかで生き生きとしたコラージュ、はり絵で見せていただきます。

2024年度(令和6年度) 冬休みにおすすめする本				
選 定 北海道学校図書館協会				
選定協力 札幌市学校図書館協議会				
表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など	
中学校				
1		Garden 8月9日の父をさがして 森越 智子/作 978-4-494-02090-4	童心社 2025.6 1,980円	ぼくには二つの名前がある。父さんの死後、被爆者手帳を見つけて、父さんの過去とぼくの名前の秘密が解き明かされていく。8月9日、長崎で起きたこと、その真実を切々と物語る。 父さんは、伝えたかったはずだ。8月9日、長崎で起きたことを。被爆地で生き抜いてきた父の思いと、隠し続けられたぼくの名前のひみつ。やがて解き明かされる真実にたどり着いたとき、ぼくは…。長い時を経て、原爆被爆者の言葉にできなかつた思いが、今、静かに胸に迫る。
2		もしも君の町がガザだったら 高橋 真樹/著 978-4-591-18644-2	ポプラ社 2025.7 1,980円	現在ガザ地区とイスラエルで起きている問題や、なぜこのようなことが起きたのかという背景をわかりやすく解説している。 10代から知っておきたいパレスチナ問題。ガザから世界を見てみると、ちがう景色が見えてくる。 占領、封鎖、爆撃、飢餓…。あらゆる人道的危機に苦しみ続けるパレスチナ。ガザやヨルダン川西岸地区に一体何がおきているのか、なぜこんな事態になってしまったのか、私達に何ができるのか。パレスチナの地をめぐる歴史を細解きながら、約30年にわたってパレスチナに関わってきた著者が小学生にもわかるようにやさしく解説します。親子で読みたいパレスチナ入門書。世界から「無関心」がなくなることを願って刊行しました。

3		チャリを盗んで、夜明け My Favorite Things	講談社 2025.7 1,760円	貧困はこんなにも生活を蝕んでいる。先の見えない人生に絶望した少年と、子どもの未来を諦めない大人が出会ったとき、心が震え、音楽が響き出す。夜明けがきっと来ることを信じたいティーンズのリアルを描いた物語。 音楽が鳴り響くとき、彼の世界は新しい光につまれるー。ケガで職を失った父と暮らす中学生3年生の巧海。生活費に事欠くなかったり、年上の友人・アマロと「バイト」ーー夜な夜な自転車の窃盗ーーをくり返し、金を稼いでいた。いつものように自転車を盗んだその朝、巧海はトラックに積まれたピアノと、そのそばに座る男と出会う。……弾く？弾くって。ピアノのこと……？そこから、巧海の世界は少しづつ動き始める！
4		わたしのbe 書くたび、生まれる	KADOKAWA 2025.9 1,760円	高校生になり、自分に自信がない、あか抜けたいと考えている文香。書道部で、仲間たちと関わり合い、書と向き合ったことで気づいた「美しさ」とは。 容姿に自信がない高校1年生の文香は、高校デビューを夢見つつも、自分を変えるきっかけがつかめず、消去法で書道部に所属している。そこで出会ったのは、ひときわ端整な顔立ちをした佑京だった。書と真剣に向き合う彼の姿に惹かれた文香は、やがて書道そのものに魅せられ、「美しい字を書く」楽しさにのめり込んでいくー。
5		聞こえない羽音	小学館 2025.10 1,430円	今度こそ夢をあきらめない！勇気と挑戦の物語。 涼宮花音、中学2年生。数年前から、耳に違和感を覚えるようになっていた。診断は感音性難聴。授業や友だちとの会話が聞きとりにくいし、何より大好きなバドミントンができなくなってしまう。絶望のふちに突きおどされた花音だったが、デフバドミントンと出会い、新たなダブルスのパートナーと出会って、人生が変わりはじめる。 「デフスポーツ」を知っていますか？ 耳が聞こえない人や聞こえにくい人たちが、補聴器を外してするスポーツのことです。 2025年11月には「デフリンピック」というデフスポーツの国際大会が、日本で初めて東京で開催されます。
6		TRUE Colors 境界線の上で	講談社 2025.7 1,760円	ジェンダーバイアス、ジェンダーギャップによって、もやもやと悩みを抱えているティーンズに寄り添ってくれる、5つの物語。中高生と一緒に大人にも読んで欲しい作品。 これは、わたしの一そして、あなたの物語。将来、恋、家族、性の違い。中学生のリアルが広がる、5つのジェンダー・ストーリー。 『To be a Mom』 神戸 遙真 『三月のグラウンド』 蒼沼 洋人 『親友のカレ』 いとう みく 『ダイニングテーブル』 鳥美山 貴子 『ぼくと体と』 ひこ・田中
7		この世は生きる価値がある	ポプラ社 2025.6 1,760円	生きていると苦しく、つらく、死んでしまいたいと思うこともあるかも知れない。ほんのかすかな、小さな幸せがあることを感じられる物語。 「どうしても、一度、生きてみたいと思ったんだ」主人公は、人間の世界を知らない「魂」。ある時、ある中学2年生男子の体に飛び込み、季節がひとめぐりする間だけその子として生きることになる。聞いて憧れていた世界で、最初は見ること、やること、すべてがキラキラしていたけれど、やがて人と交わるうちに、どうしようもできない苦しい気持ちにも襲われーー。悩みや痛みに苦しんでも、生きたいと思える日常があることが感動とともに伝わってくる、新しい切り口で青春を描いた物語。
8		中三・ラブソディ	講談社 2025.9 1,650円	日本に住む中学生なら誰しも経験するであろう合唱コンクール。楓の提案で「ボヘミアン・ラブソディ」を歌うことになり、音痴を隠したい季里、地味な指揮者の楓、ひざけて練習しない河内、魔王と恐れられる伴奏者の杉風さん。家族や進路の悩みも等身大、クイーンのナンバーを聴きながら読んでもらいたい一冊。 わたしが3歳の時、突然いなくなったお父さんが、いつも聴いていた曲。クイーンの『ボヘミアン・ラブソディ』。合唱コンクールの練習で困っていた時、音痴なわたしの目の前にフレディ・マーキュリーがイマジナリーフレンドとして突然現れて、「自分で解決できることだけ考えたらいい」「なにも心配することないよ」と言って、クイーンのバラードを歌ってくれた。合唱コンクールを舞台にした爽快青春ストーリー。
9		パッチーズ ぼくらがつなぐ小さな世界	岩崎書店 2025.9 1,650円	つぎあて。別名エルボーパッチ。クラスでバカにされていた男子がエルボーパッチとパッチワークで周囲がカラフルになる。そしてそれは彼の未来を明るくするパッチワーク物語。 中二の柊は、ある日クラスメイトとともに、唯一サイズの合っていた洋服“雨雲色のフーディ”の左ひじの生地をすりきらせてしまう。そこで柊が考えた方法は「パッチ」だったー
10		命の宿題 「殺処分ゼロ」を語った日から…	新日本出版社 2025.9 1,650円	耳にする「殺処分ゼロ」。ゴールは本当にそこなのだろうか？その背景にある犬たちの事をもう少し知る必要がある。「命をあずかる」ことは「幸せにする」責任も伴う。私たちが目指すのは「捨てられる命ゼロ」ではないだろうか。 犬たちにとっての幸せって何だろう？生きのびた命が教えてくれること。 近年注目が集まる「殺処分ゼロ」への道のりは険しい。施設に収容されている多くが、人間が苦手な犬、咬むクセのある犬など、新たな飼い主への譲渡が難しい犬たち。「眞のゼロ」のため私たちが考えるべきこととは？各地の動物愛護センターを取り材し、日々の葛藤と努力を「命の授業」で伝えてきた著者によるルポルタージュ。
高等学校				
1		救われてんじゃねえよ SACHI There's No Place Like Home	新潮社 2025.4 1,540円	沙智は難病の母の介護をする17歳の高校生。ヤングケアラーである。母は沙智に過剰に依存し、父はすべてを押しつける。両親は俗にいう毒親である。どん底の日々にある「笑い」が力となるのか…。 誰かの力を借りなきや、笑えなかつたーー。主人公の沙智は、難病の母を介護しながら高校に通う17歳。母の排泄介助をしていると言ったら、担任の先生におおげさなくらい同情された。「わたしは不幸自慢スカウターでいえば結構戦闘力高めなんだと思う」。そんな彼女に舞い降りたのは、くだらない奇跡だった。 第21回「女による女のためのR-18文学賞」大賞受賞作17歳。
2		僕たちは我慢している	COMPASS 2025.5 1,980円	中高一貫の超難関進学校に通う男子高校生たちの大学受験物語。どんな(恵まれた)環境にあっても、個々の悩みも困難もある中、目標に向かい突き進む、清々しい物語。 「先生、勉強する意味ってなんですか？」中高一貫男子高校生が、超難関大学受験に挑む！高校進学を機に、父の病気もあって好きな野球をやめ、勉強に打ち込むことに決めた道人。高3の夏まで野球を続けたが、その後やる気が出ない揮ー……。それぞれの形で受験に取り組む同級生の3年間をたどる。

3		私たちは何を捨てているのか 食品ロス、コロナ、気候変動 尾出 留美/著 978-4-04-082504-5	筑摩書房 2025.3 1,012円 ちくま新書	食品ロスが気候変動の大きな原因となっている…！？世界中から出る食品ロスによる温室効果ガスの排出量において、我が国は世界第3位である。食べるためになり、輸入し捨てている。食品ロス問題をさまざまな角度、視点から考える。 年間4兆円、大手コンビニ1店舗468万円—日本の食品ロスで「捨てる」金額だ。地球規模の事件と複雑に繋がり、持続不可能な危険な道であることを警告する。 食品ロスのために失われている金額は、日本では年間4兆円とも言われている。たとえば大手コンビニ1店舗が捨てている食品は年間468万円。食品ロスは、コロナ禍やウクライナ侵攻、気候変動など、地球規模の事業と繋がっており、貧困や飢餓の問題にも影響を与えている。社会問題として複雑に絡まった因果関係を、多数の事例を挙げながら丁寧に解説する。牛乳、コメ、卵など身近な食べ物をめぐる話題から賞味期間と消費期限、ごみ問題まで、私たちの生活と直結する内容が満載。
4		盗んで食べて吐いても 桜井 美奈/著 978-4-09-386759-7	小学館 2025.7 1,870円	「太ったら、食べちゃダメなの」。体型を重視する母の言葉にがんじがらめとなり、拒食から過食、そして嘔吐を繰り返す日々。摂食障害から窃盗症を患った女性の絶望と再生の物語。 「太いたら、食べちゃダメなの」。幼いころに聞いた母の言葉をずっと忘れないでいる早織。早織は小学校6年生ごろから体重が増えはじめ、体型を何よりも重視する母は食事量を厳しく制限した。お菓子はダメ、お代わりはダメ。でも、もっと食べたい、もっと痩せたい。早織は食べて吐くを繰り返すようになり、吐くための食料を手に入れるため、食べ物を万引きするようになってしまった。結婚をして夫と娘と仲良く暮らしながらも彼女は万引きをやめられないでいた。そんなある日、早織は妹からの電話を受ける。それはずっと避けていた母の命が、もう長くないと告げるものだった。
5		創作のミライ 「初音ミク」が北海道から生まれたわけ 伊藤 博之/著 柴 那典/聞き手・構成 978-4-12-005934-6	中央公論新社 2025.7 1,980円	北海道から生まれた音楽文化の世界人気バーチャルアイドル「初音ミク」。生みの親である伊藤博之氏が、開発から二次元創作支援、AI時代の未来を語る。 札幌のベンチャーが起こした音楽業界の革命。「新プロジェクトX」で大反響！「初音ミク」生みの親の哲学と原点。 日本発の音楽文化として、世界で人気の「初音ミク」。このバーチャルなキャラクターを核に、音楽・イラスト・動画などが呼応し合うボカロ文化が2007年に産声を上げた。このブームに火を付けた企業が、クリプトン・フューチャー・メディアである。創業者の伊藤氏は企画開発のみならず、「創作の連鎖」を促すルールと仕組みを整えた。なぜ、それができたのか？ そこにはUGC（ユーザー生成コンテンツ）文化の出現をいち早く予見したA・トフラーとの出会いがあった。